

教育委員会会議 定例会

平成 28 年 5 月 26 日

提出議案綴

山梨県教育委員会

1 議 案

- (5) 専門学校山梨県立農業大学校設置及び管理条例及び専門学校山梨県立農業大学校授業料及び入学検定料条例の一部を改正する条例
- (6) 平成28年度6月補正予算概要
- (7) 平成29年度山梨県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜の基本事項について

2 報 告 事 項

- (2) 平成28年度公立高等学校入学者選抜学力検査成績調査結果報告書について

3 その他報告

- (7) 平成28年3月公立高等学校卒業者の就職決定状況について
- (8) 平成29年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法について
- (9) 山梨県立図書館の指定管理者の指定に伴う公募について

議案第 5 号

専門学校山梨県立農業大学校設置及び管理条例及び専門学校山梨県立農業大学校授業料及び入学検定料条例の一部を改正する条例

提案理由

農業大学校における受益者負担の適正化を図るため、入学料について定める必要がある。

条例の概要

教育庁総務課

題名	専門学校山梨県立農業大学校設置及び管理条例及び専門学校山梨県立農業大学校授業料及び入学検定料条例の一部を改正する条例
趣旨	農業大学校における受益者負担の適正化を図るため、入学料について定める必要がある。
内容	<p>1 条例改正の背景等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業大学校では、これまで人材確保の観点から、入学料は徴収してこなかった。 ○ 平成26年度の行政評価において、農業大学校が外部評価の対象となり「入学金を納付するよう条例改正を行う必要がある」として「要改善」と評価された。 ○ 他県の県立農業大学校では、41県中25県で入学料を徴収していることや、宝石美術専門学校、産業技術短期大学校、峡南技術専門学校等、県立の全ての学校において入学料を徴収していることを勘案し、受益者負担の適正化を図るため、入学料を徴収することとした。 ○ このため、専門学校山梨県立農業大学校設置及び管理条例及び専門学校山梨県立農業大学校授業料及び入学検定料条例について所要の改正を行う必要がある。 <p>2 条例改正の内容</p> <p>(1) 専門学校山梨県立農業大学校設置及び管理条例の一部改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学料に関する規定を追加する。 <p>(2) 専門学校山梨県立農業大学校授業料及び入学検定料条例の一部改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 題名を「専門学校山梨県立農業大学校授業料、入学料及び入学検定料条例」に改める。 ・ 入学料は、高等学校の全日制の課程の入学料と同額（5,650円）とし、入学を許可するときに徴収する旨の規定を追加する。 ・ 既に徴収した入学料は返還しない旨の規定を追加する。
施行期日	平成29年4月1日から施行する。
留意点	なし
参考事項	なし

専門学校山梨県立農業大学校設置及び管理条例及び専門学校山梨県立農業大学校
授業料及び入学検定料条例中改正の件

専門学校山梨県立農業大学校設置及び管理条例及び専門学校山梨県立農業大学校授業
料及び入学検定料条例の一部を改正する条例を次のように定めるものとする。

専門学校山梨県立農業大学校設置及び管理条例及び専門学校山梨県立農業大学校
授業料及び入学検定料条例の一部を改正する条例

(専門学校山梨県立農業大学校設置及び管理条例の一部改正)

第一条 専門学校山梨県立農業大学校設置及び管理条例(平成十九年山梨県条例第三十
五号)の一部を次のように改正する。

第五条中「授業料」の下に「、入学料」を加える。

(専門学校山梨県立農業大学校授業料及び入学検定料条例の一部改正)

第二条 専門学校山梨県立農業大学校授業料及び入学検定料条例(平成十九年山梨県条

例第五十二号)の一部を次のように改正する。

題名及び第一条中「授業料」の下に「、入学料」を加える。

第六条を第七条とし、第五条を第六条とする。

第四条中「授業料」の下に「、入学料」を加え、同条を第五条とし、第三条を第四条とし、第二条の次に次の一条を加える。

(入学料)

第三条 入学料の額は、山梨県立学校授業料、入学料及び入学審査料条例第二条の第一項の表に規定する高等学校の全日制の課程の入学料の額と同額とする。

2 入学料は、入学を許可するときに徴収する。

附 則

この条例は、平成二十九年四月一日から施行する。

提案理由

農業大学校における受益者負担の適正化を図るため、入学料について定める必要がある。これが、この条例案を提出する理由である。

専門学校山梨県立農業大学校設置及び管理条例新旧対照表（第一条
関係）

新	旧
<p>（授業料等） 第五条 農業大学校の授業料、入学料及び入学検定料に関しては、別に条例で定める。</p>	<p>（授業料等） 第五条 農業大学校の授業料及び入学検定料に関しては、別に条例で定める。</p>

専門学校山梨県立農業大学校授業料及び入学検定料条例新旧対照表
 (第一条関係)

新	旧
<p>専門学校山梨県立農業大学校授業料、入学料及び入学検定料 条例</p> <p>(趣旨)</p> <p>第一条 この条例は、専門学校山梨県立農業大学校の授業料、入学料及び入学検定料について定めるものとする。</p> <p>第二条 略</p> <p>(入学料)</p> <p>第三条 入学料の額は、山梨県立学校授業料、入学料及び入学審査料条例第二条の二第一項の表に規定する高等学校の全日制の課程の入学料の額と同額とする。</p> <p>2 入学料は、入学を許可するときに徴収する。</p> <p>第四条 略</p> <p>(授業料等の不還付)</p> <p>第五条 既に徴収した授業料、入学料及び入学検定料は、還付しない。</p> <p>第六条・第七条 略</p>	<p>専門学校山梨県立農業大学校授業料 及び入学検定料 条例</p> <p>(趣旨)</p> <p>第一条 この条例は、専門学校山梨県立農業大学校の授業料及び入学検定料について定めるものとする。</p> <p>第二条 略</p> <p>第三条 略</p> <p>(授業料等の不還付)</p> <p>第四条 既に徴収した授業料 及び入学検定料は、還付しない。</p> <p>第五条・第六条 略</p>

議案第 6 号

平成28年度6月補正予算(案)概要

一般会計

【目的別】

(単位:千円)

区分	当初予算額	補正予算額	計(A)	構成比 %	27年度6月現 計予算額(B)	構成比 %	対前年度比較 A-B	前年比 A/B%
教育委員会所管一般会計	85,847,681	309,946	86,157,627	100.0	85,865,667	100.0	291,960	100.3
2 総務費	203,759	0	203,759	0.2	158,559	0.2	45,200	128.5
1 総務管理費	203,759	0	203,759	0.2	158,559	0.2	45,200	128.5
8 土木費	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4 都市計画費	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10 教育費	85,643,922	309,946	85,953,868	99.8	85,707,108	99.8	246,760	100.3
1 教育総務費	14,530,384	1,108	14,531,492	16.9	14,300,205	16.7	231,287	101.6
2 小学校費	26,058,986	0	26,058,986	30.3	26,637,162	31.0	△578,176	97.8
3 中学校費	15,940,962	0	15,940,962	18.5	16,126,185	18.8	△185,223	98.9
4 高等学校費	18,558,285	0	18,558,285	21.5	18,041,131	21.0	517,154	102.9
5 特別支援学校費	7,502,604	0	7,502,604	8.7	6,995,214	8.1	507,390	107.3
6 社会教育費	2,183,266	16,978	2,200,244	2.6	2,314,195	2.7	△113,951	95.1
7 保健体育費	869,435	291,860	1,161,295	1.3	1,293,016	1.5	△131,721	89.8

【性質別】

(単位:千円)

区分	当初予算額	補正予算額	計(A)	構成比 %	27年度6月現 計予算額(B)	構成比 %	対前年度比較 A-B	前年比 A/B%
1 消費的経費	82,156,767	8,363	82,165,130	95.4	83,136,807	96.8	△971,677	98.8
人件費	74,119,513	0	74,119,513	86.0	75,442,737	87.8	△1,323,224	98.2
(委員等報酬)	879,854	0	879,854	1.0	889,165	1.0	△9,311	99.0
(職員給)	65,365,329	0	65,365,329	75.9	66,294,511	77.2	△929,182	98.6
(退職金)	7,756,512	0	7,756,512	9.0	8,146,249	9.5	△389,737	95.2
(その他)	117,818	0	117,818	0.1	112,812	0.1	5,006	104.4
物件費	4,692,131	8,124	4,700,255	5.5	5,037,589	5.9	△337,334	93.3
維持補修費	90,756	0	90,756	0.1	91,952	0.1	△1,196	98.7
扶助費	649,417	0	649,417	0.8	579,219	0.7	70,198	112.1
補助費等	2,604,950	239	2,605,189	3.0	1,985,310	2.3	619,879	131.2
2 投資的経費(普通建設)	3,675,647	301,583	3,977,230	4.6	2,712,457	3.2	1,264,773	146.6
補助事業	555,553	0	555,553	0.6	286,233	0.3	269,320	194.1
単独事業	3,120,094	301,583	3,421,677	4.0	2,426,224	2.8	995,453	141.0
3 貸付金	3,864	0	3,864	0.0	4,200	0.0	△336	92.0
4 繰出金	11,403	0	11,403	0.0	12,203	0.0	△800	93.4
5 投資及び出資金	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	85,847,681	309,946	86,157,627	100.0	85,865,667	100.0	291,960	100.3

【提案理由】

一般会計歳入歳出予算の総額を309,946千円増額し、歳入歳出それぞれ86,157,627千円としたい。これが、この案件を提出する理由である。

平成28年度6月補正予算(案)概要

(単位:千円)

課室名	事業名等	予算額 (財源)	事業の概要		
新しい学校づくり推進室	⑨ 軽度障害児童生徒教育指導研究事業費	1,108 (国委 1,108)	比較的軽度な障害のある児童生徒一人ひとりのニーズに的確に対応できるよう、通級指導担当教員の指導力向上を図る。 事業内容 指定拠点校での実践研究 研修会の開催等		
			当初予算額	補正額	計
			0	1,108	1,108
社会教育課	⑨ 県有施設有効活用改修費	14,560 (県費 14,560)	県有施設を有効活用し、地域の観光誘客を図るため、なかとみ青少年自然の里の宿泊管理棟を改修する。		
			当初予算額	補正額	計
			0	14,560	14,560
スポーツ健康課	⑨ 学校食育指導実践研究事業費	4,837 (国委 4,837)	学校における食育を推進するため、効果的な指導方法の研究等を行い、食育の実践プログラムを作成する。 研究指定校 甲州市立塩山北小学校		
			当初予算額	補正額	計
			0	4,837	4,837
スポーツ健康課	葦崎射撃場汚染土壌除去事業費	287,023 (県費 287,023)	葦崎射撃場跡地の土壌汚染対策のため、汚染土壌の除去を行う。		
			当初予算額	補正額	計
			70,619	287,023	357,642
学術文化財課	甲府城跡総合調査事業費	2,418 (県費 2,418)	甲府城跡における天守閣等の復元の可能性について継続して調査を行う。 事業内容 文献・絵図等調査 調査検討委員会の開催		
			当初予算額	補正額	計
			1,200	2,418	3,618

繰越明許費

(単位:千円)

款	項	補正後	
		事業名	金額
10 教育費	7 保健体育費	県立射撃場費	285,910

議案第 7 号

平成29年度山梨県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜の基本事項について

提案理由

平成29年度山梨県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜の実施にあたり、あらかじめ基本事項を定め公告する必要がある。これが、この議案を提出する理由である。

(平成28年5月26日 定例教育委員会)

課室名

新しい学校づくり推進室

件名 平成29年度山梨県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜の基本事項について

経緯

- 平成28年2月～3月
平成28年度山梨県立特別支援学校高等部入学者選抜実施に係る課題及び対応策について各特別支援学校からの意見集約
- 平成28年4月～5月
平成29年度入学者選抜の基本事項(案)について各特別支援学校からの意見集約

内容

- 1 平成29年度山梨県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜の基本事項を別紙のとおり定め、実施したい。
 - 2 平成29年度の基本事項について
 - (1) 幼稚部について
盲学校及びろう学校において入学検査を実施する。また、入学検査の結果、入学許可予定者が募集定員に満たない場合は、再募集を実施する。
 - (2) 高等部本科について
高等部を設置する特別支援学校9校において入学検査を実施する。また、盲学校、ろう学校及び高等支援学校桃花台学園においては、入学検査の結果、入学許可予定者が募集定員に満たない場合は、再募集を実施する。
 - (3) 高等部専攻科について
盲学校において入学検査を実施する。また、入学検査の結果、入学許可予定者が募集定員に満たない場合は、再募集を実施する。
- ※ 基本事項に係る実施方法について、昨年度からの主な変更点は、以下のとおりである。
- 高等支援学校桃花台学園の出願手続
 - ・ 出願書類における「健康診断票の写し」を「医療機関が発行したもの」から「医療機関が発行したもの(桃花台学園校長が指定する様式による。)」に変更
 - 盲学校幼稚部、高等部及びろう学校幼稚部、高等部の再募集の出願手続
 - ・ 「出願上の留意事項」として予め教育相談を受ける期限を明記 等
- 3 入試の詳細について
10月下旬に発表する「平成29年度山梨県立盲学校・ろう学校幼稚部入学者選抜実施要項」、「平成29年度山梨県立特別支援学校高等部入学者選抜実施要項」及び「平成29年度山梨県立盲学校高等部専攻科入学者選抜実施要項」で定める。

公告

平成 29 年度山梨県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜の基本事項について

山梨県教育委員会

1 出願資格

保護者とともに山梨県内に住所を有する者で、次の各学校の要件に該当するものとする。

学校名	募集区分	要件
盲学校 甲府市下飯田二丁目 10-2 (055)226-3361	幼稚部	(1) 幼稚部 学校教育法施行令（以下「施行令」という。）第22条の3に規定する視覚障害者で、平成29年4月1日現在において満3歳以上6歳未満のもの (2) 高等部本科 施行令第22条の3に規定する視覚障害者で、次の各号のいずれかに該当するもの ア 視覚障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部若しくは中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者 イ 盲学校長が、中学校を卒業した者と同等の学力があると認められた者 (3) 高等部専攻科 施行令第22条の3の規定による視覚障害者で、次の各号のいずれかに該当するもの ア 盲学校高等部本科若しくは高等学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者 イ 盲学校長が、高等学校を卒業した者と同等の学力があると認められた者
	高等部 本科普通科 本科保健医療科 専攻科保健医療科 専攻科理療科	
ろう学校 山梨市大野 1009 (0553)22-1378	幼稚部	(1) 幼稚部 施行令第22条の3に規定する聴覚障害者で、平成29年4月1日現在において満3歳以上6歳未満のもの (2) 高等部 施行令第22条の3に規定する聴覚障害者で、次の各号のいずれかに該当するもの ア 聴覚障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部若しくは中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者 イ ろう学校長が、中学校を卒業した者と同等の学力があると認められた者
	高等部 本科普通科	
甲府支援学校 甲府市下飯田二丁目 10-3 (055)226-3322	高等部 本科普通科	施行令第22条の3に規定する肢体不自由者で、次の各号のいずれかに該当するもの (1) 肢体不自由者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部若しくは中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者 (2) 志願先特別支援学校長が、中学校を卒業した者と同等の学力があると認められた者
あけぼの支援学校 韮崎市旭町上条南割 3251-1 (0551)22-6131	高等部 本科普通科	

学校名	募集区分		要件
わかば支援学校 南アルプス市有野 3346-3 (055)285-1750	高等部	本科普通科	<p>施行令第22条の3に規定する知的障害者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部若しくは中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 志願先特別支援学校長が、中学校を卒業した者と同等の学力があると認めた者</p>
かえで支援学校 甲府市東光寺二丁目 25-1 (055)223-6355	高等部	本科普通科	
やまびこ支援学校 大月市富浜町宮谷 1497 (0554)23-1943	高等部	本科普通科	<p>施行令第22条の3に規定する知的障害者又は肢体不自由者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 知的障害者又は肢体不自由者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部若しくは中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 志願先特別支援学校長が、中学校を卒業した者と同等の学力があると認めた者</p>
ふじざくら支援学校 南都留郡富士河口湖 町船津6663-1 (0555)72-5161	高等部	本科普通科	
高等支援学校桃花台 学園 笛吹市石和町中川 1400 (055)263-7760	高等部	本科産業技術科	<p>施行令第22条の3に規定する知的障害者で、次の(1)のいずれかの条件を満たし、かつ、(2)及び(3)に該当するもの</p> <p>(1) 次のいずれかの条件を満たす者</p> <p>ア 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部若しくは中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>イ 高等支援学校桃花台学園校長が、中学校を卒業した者と同等の学力があると認めた者</p> <p>(2) 知的障害の程度が比較的軽い者で、施行令第22条の3に規定する知的障害以外の障害を併せ有していない者</p> <p>(3) 基本的生活習慣を身につけており、自主通学のできる者</p>

2 出願、入学検査及び選抜方法

(1) 高等支援学校桃花台学園（以下「桃花台学園」という。）

ア 出願

(ア) 出願の制限

- a 高等学校全日制の課程における前期募集と併願することはできない。
- b 志願者は、桃花台学園の教育相談を、平成28年12月28日（水）までに受けておくこと。

(イ) 受付期間

平成29年1月19日（木）（一括受付）、1月20日（金）の午前9時から午後4時まで及び1月23日（月）の午前9時から正午まで

(ウ) 出願書類

- a 入学願書
- b 確約書

c 調査書

d 住民票の写し

本人及び保護者に関するもので、平成28年12月以降発行のもの

e 健康診断票

医療機関が発行したもの（桃花台学園校長が指定する様式による。）で、平成28年12月以降に受診したもの

f 山梨県総合教育センター相談支援部が平成28年4月以降に発行した施行令第22条の3に規定する知的障害者であることを証明する「教育相談における所見」（すでに出願時に有効な療育手帳を取得している場合は、その写しにより所見に替えることができる。ただし、県立特別支援学校中学部を平成29年3月卒業見込みの知的障害を主障害とする者は、所見の提出は不要とする。）

イ 入学検査

(7) 期日

平成29年2月2日（木）

(4) 会場

桃花台学園（笛吹市石和町中川1400）

(7) 入学検査の内容

学力検査、作業能力検査、運動能力検査及び面接

ウ 選抜

桃花台学園校長は、出願書類及び入学検査の結果を資料として総合判定し、選抜する。

(2) 盲学校、ろう学校、甲府支援学校、あけぼの支援学校、わかば支援学校、かえで支援学校、やまびこ支援学校及びふじざくら支援学校

ア 出願

(7) 出願の制限

出願は、「山梨県立特別支援学校通学区域等に関する規則」に定める通学区域の学校とする。

(4) 受付期間

平成29年2月10日（金）、2月13日（月）、2月14日（火）、2月15日（水）の午前9時から午後4時まで及び2月16日（木）の午前9時から正午まで

(7) 出願書類

a 全校共通

(a) 入学願書

(b) 調査書（幼稚部は除く）

(c) 住民票の写し

本人及び保護者に関するもので、平成29年1月以降発行のもの

(d) 健康診断票

医療機関が発行したもの（志願先特別支援学校校長が様式を指定する場合は、当該様式による。）で、平成29年1月以降に受診したもの（志願先特別支援学校の中学部を平成29年3月卒業見込みの者を除く。）

ただし、あけぼの医療福祉センターで加療中の肢体不自由者が、あけぼの支援学校を受検する場合の健康診断票は、同センター整形外科医発行のものとする。

b 学校ごとに必要な書類（志願先特別支援学校の中学部を平成29年3月卒業見込みの者を除く。）

学校名	学校ごとに必要な書類
盲学校	平成29年1月以降に受診した眼科医発行の健康診断票 (幼稚部においては、身体障害者手帳の写しに替えることも可)
ろう学校	平成29年1月以降に受診した耳鼻咽喉科医発行の健康診断票 (幼稚部においては、身体障害者手帳の写しに替えることも可)
甲府支援学校	平成29年1月以降に受診した整形外科医発行の健康診断票
あけぼの支援学校	平成29年1月以降に受診した整形外科医発行の健康診断票 (あけぼの医療福祉センターで治療を受けていない者)
わかば支援学校	山梨県総合教育センター相談支援部が平成28年4月以降に発行した施行令第22条の3に規定する知的障害者であることを証明する「教育相談における所見」 (すでに出願時に有効な療育手帳を取得している場合は、その写しに替えることも可)
かえで支援学校	
やまびこ支援学校	(肢体不自由者) 平成29年1月以降に受診した整形外科医発行の健康診断票
ふじざくら支援学校	(知的障害者) 山梨県総合教育センター相談支援部が平成28年4月以降に発行した施行令第22条の3に規定する知的障害者であることを証明する「教育相談における所見」 (すでに出願時に有効な療育手帳を取得している場合は、その写しに替えることも可)

(エ) 出願上の留意事項

志願者は、平成28年12月28日(水)までに、志願先特別支援学校の教育相談を予め受けるものとする。(志願先特別支援学校の中学部を平成29年3月卒業見込みの者を除く。)

イ 入学検査

(ア) 期日

平成29年3月7日(火)

(イ) 会場

各志願先特別支援学校

(ロ) 入学検査の内容

学校名	募集区分	検査内容	
盲学校	幼稚部	・実態を把握するための検査	
	高等部	本科普通科	・学力検査 ・面接
		本科保健医療科 専攻科保健医療科 専攻科理療科	・学力検査 ・面接 ・機能検査
ろう学校	幼稚部	・実態を把握するための検査	
	高等部	本科普通科	・学力検査 ・面接

学校名	募集区分		検査内容
甲府支援学校	高等部	本科普通科	<ul style="list-style-type: none"> ・学力検査 ・面接 ・生活動作検査
あけぼの支援学校			
わかば支援学校			
やまびこ支援学校			
ふじざくら支援学校			
かえで支援学校			

ウ 選抜

志願先特別支援学校長は、出願書類及び入学検査の結果を資料として総合判定し、選抜する。

3 入学許可予定者の発表

(1) 桃花台学園

平成29年2月9日(木)の午前11時

なお、桃花台学園の入学許可予定者は、高等学校全日制課程における後期募集、定時制の課程、通信制の課程及び特別支援学校高等部入学者選抜検査に出願することはできない。

(2) 盲学校、ろう学校、甲府支援学校、あけぼの支援学校、わかば支援学校、かえで支援学校、やまびこ支援学校及びふじざくら支援学校

平成29年3月14日(火)の午前11時

4 再募集

盲学校幼稚部、高等部(本科普通科、本科保健理療科、専攻科保健理療科、専攻科理療科)、ろう学校幼稚部、高等部及び桃花台学園において、入学許可予定者が募集定員に満たない場合は、再募集を実施する。

(1) 盲学校幼稚部、高等部(本科普通科、本科保健理療科、専攻科保健理療科、専攻科理療科)、ろう学校幼稚部及び高等部の出願及び入学検査等

ア 出願資格

「1 出願資格」による。

イ 出願の制限(高等部)

(ア) 出願時に、県内の公・私立高等学校及び特別支援学校のいずれにも合格していない者。

(イ) 公立高等学校全日制の課程における再募集との併願はできない。

ウ 出願期間

平成29年3月15日(水)の午前9時から午後4時及び3月16日(木)の午前9時から正午まで

エ 入学検査の内容

盲学校長又はろう学校長がそれぞれ別途定める。

オ 検査期日

平成29年3月17日(金)

カ 入学許可予定者の発表

平成29年3月22日(水)の午前11時

キ 出願上の留意事項

志願者は、平成28年12月28日(水)までに、盲学校又はろう学校の教育相談を予め受けるものとする。(盲学校又はろう学校の中学部を平成29年3月卒業見込みの者を除く。)

(2) 桃花台学園の出願及び入学検査等

ア 出願資格

(7) 「1 出願資格」による。

(4) 公立高等学校全日制課程における後期募集又は定時制の課程における入学者選抜の学力検査受検者（病気等やむを得ない理由により学力検査を受検することができなかつたと桃花台学園校長が認める者を含む。）で、出願時に、県内の公・私立高等学校及び特別支援学校のいずれにも合格していない者。

イ 出願の制限

(7) 公立高等学校全日制課程の再募集と併願することはできない。また、定時制再募集及び通信制の課程と併願することもできない。

(4) 志願者は、桃花台学園の教育相談を、平成28年12月28日（水）までに受けておくこと。

ウ 出願期間

平成29年3月15日（水）の午前9時から午後4時及び3月16日（木）の午前9時から正午まで

エ 入学検査の内容

桃花台学園校長が別途定める。

オ 検査期日

平成29年3月17日（金）

カ 入学許可予定者の発表

平成29年3月22日（水）の午前11時

5 実施要項

詳細については、別に定める「平成29年度山梨県立盲学校・ろう学校幼稚部入学者選抜実施要項」、「平成29年度山梨県立特別支援学校高等部入学者選抜実施要項」及び「平成29年度山梨県立盲学校高等部専攻科入学者選抜実施要項」による。

平成29年度県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜日程

平成29年 1月			平成29年 2月			平成29年 3月			
1	日		1	水		1	水		
2	月		2	木	桃花台学園検査	2	木		
3	火		3	金		3	金		
4	水		4	土		4	土		
5	木		5	日		5	日		
6	金		6	月		6	月		
7	土		7	火		7	火	特別支援学校検査	
8	日		8	水		8	水		
9	月	成人の日	9	木	桃花台学園入学許可予定者発表	9	木		
10	火		10	金	特別支援学校出願期間	10	金		
11	水		11	土		建国記念の日	11	土	
12	木		12	日			12	日	
13	金		13	月			13	月	
14	土		14	火			14	火	入学許可予定者発表
15	日		15	水			15	水	盲・ろう学校、桃花台学園再募集出願期間
16	月		16	木			16	木	
17	火		17	金		17	金	盲・ろう学校、桃花台学園再募集検査	
18	水		18	土		18	土		
19	木	桃花台学園出願期間	19	日		19	日		
20	金		20	月		20	月	春分の日	
21	土		21	火		21	火		
22	日		22	水		22	水	盲・ろう学校、桃花台学園再募集入学許可予定者発表	
23	月		23	木		23	木		
24	火		24	金		24	金		
25	水		25	土		25	土		
26	木		26	日		26	日		
27	金		27	月		27	月		
28	土		28	火		28	火		
29	日					29	水		
30	月					30	木		
31	火					31	金		

※志願者は、平成29年12月28日（水）までに、志願先特別支援学校の教育相談を予め受けるものとする。（志願先の特別支援学校の中学部を平成29年3月卒業見込みの者を除く。）

平成28年5月26日

課名

高校教育課

件名 平成28年度公立高等学校入学者選抜学力検査成績調査結果報告書について

- 調査の目的
平成28年度公立高等学校入学者選抜のために実施した学力検査結果の調査・分析を通して、本県公立高等学校志願者の学力の実態を把握し、本県中学校及び高等学校の教科教育を充実させるための資料とすることを目的とする。
- 実施期日及び教科
平成28年3月3日(木) 国語、社会、数学、英語、理科(実施教科順)の5教科
- 調査対象者
学力検査の全教科受検者 全日制 4,552人 (H27 4,724人)
男子2,354人(H27 2,396人) 女子2,198人(H27 2,328人)
なお正答率調査は、全ての受検校で男女を問わず無作為に抽出した458人(H27 477人)に対して実施した。この人数は、上記受検者の約10%である。

○ 報告書の概要

1 全体及び各教科の出題のねらい、配慮事項

- (1) 学習指導要領に定める内容のうち、基礎的・基本的事項を重視した。
- (2) 知識量に偏らず、思考力・判断力・表現力など「確かな学力」の定着の度合いを測ることとした。

2 平均点及び昨年度との比較(各教科100点満点)

		今年度(平成28年度)	昨年度(平成27年度)	比較
総	合	250.5	266.0	-15.5
国	語	58.0	57.7	+0.3
社	会	46.5	57.8	-11.3
数	学	55.8	47.3	+8.5
理	科	44.2	50.5	-6.3
英	語	45.9	52.7	-6.8

3 教科別調査結果の概要【報告書P2~12】

- (1) 国語 … 創造と継承を繰り返して形成される言語文化への関心をはじめ、文章の構成・展開・表現の仕方等について自分の考えをもつこと、自分の考えをまとめて表現すること等に課題が見られた。文章にあらわれているものの見方、考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもち、それを述べること、文章を読み比べながら評価するといった言語活動を通して、思考力、判断力、表現力の育成を図るとともに、日常の言語活動を振り返りながら言語感覚を磨いていくことが望まれる。
- (2) 社会 … 基礎的・基本的な内容を問う問題については、高い正答率で良好な検査結果であった。しかし基本的な事項であっても、複数の資料を関連づけて考えたり、決められた条件の中で自分の言葉で表現したりすることや、図やグラフなどの資料を読み解いて自分の考えをまとめたりすることに課題が見られた。日頃から社会的事象に関する関心をもち、自分との関係の中で捉えるとともに、読図や作図等に慣れ、自分の言葉で説明できる学習を進める必要がある。
- (3) 数学 … 基礎的・基本的な知識や技能については、ある程度習得されていると考えられるが、根拠を示して説明・証明する問題、複数の領域や幾つかの手順を踏む問題に対して、既習の知識や技能を活用して処理する能力に課題が残る。問題場面の状況を数学的に定式化し、性質や関係を明らかにするなど、数学的な表現手法や処理の仕方と考察力を高めることが一層望まれる。
- (4) 理科 … 基礎的・基本的な知識や技能については、定着の高い項目も見られた。確かな知識やデータを活用して表現する力を確認するために、各大問に出題した現象や理由を説明する論述問題、思考力を問う計算問題、知識やグラフ等を活用して正答を導く問題の正答率が低く、無答率が高いものもあった。幅広い知識の定着と同時に、知識やデータを活用して思考する力や、その過程や根拠・理由を表現する力の育成が望まれる。
- (5) 英語 … 聞く力については、正答率は高く良好な状況である。ただし、聞き取った情報をもとに正しい答えを導く問題でやや正答率が下がった。読む力、書く力については、内容を理解した上で、文脈を踏まえて自分の言葉で表現することに課題が残る。自分の考えをまとまりのある英語で表現できる英語力や、これまでに学んだ文法事項等を使って、的確に表現する力の育成が望まれる。

4 総合得点及び各教科の(男女別)得点分布【報告書P13~18】

5 総合平均点及び教科別平均点の推移【報告書P19~20】

6 正答率調査表【報告書P21~23】

担当：高校教育課 指導担当 萱沼 恵光
TEL 055-223-1766 内線(8305)

受検者数・入学許可予定者数等について

(甲陵高等学校は除く。)

平成28年度全日制公立高等学校入学者選抜学力検査

※ () は平成27年度の数

1	募集定員	6,040人	(6,300人)	[-260]
2	前期募集入学内定者数	1,729人	(1,739人)	[-10]
3	後期募集入学者募集定員	4,311人	(4,561人)	[-250]
4	後期募集入学者選抜最終志願者数	4,584人	(4,750人)	[-166]
5	後期募集入学者選抜学力検査欠席者数	19人	(16人)	[+3]
6	後期募集入学者選抜学力検査受検者数	4,565人	(4,734人)	[-169]
7	後期募集入学者選抜入学許可予定者数	4,099人	(4,317人)	[-218]
	不合格者	466人	(417人)	[+49]
8	再募集受検者数	67人	(78人)	[-11]
9	再募集入学許可予定者数	42人	(63人)	[-21]
10	入学許可予定者総数(前期募集+後期募集+再募集)	5,870人	(6,119人)	[-249]
	内入学辞退者	0人	(2人)	[-2]
	入学者数	5,870人	(6,117人)	[-247]

平成27年度 公立高校卒業者の就職内定状況

(平成28年3月31日現在)

1 全日制											
学科	性別計	卒業者	就職希望者			就職者			率 %	昨年同期 %	対比
			県内	県外		県内	県外				
普通	男	1867	67	58	9	67	57	10	100.0	95.5	4.5
	女	1978	60	55	5	55	51	4	91.7	93.1	-1.4
	計	3845	127	113	14	122	108	14	96.1	94.4	1.7
農業	男	124	72	70	2	72	70	2	100.0	100.0	0.0
	女	89	57	56	1	57	56	1	100.0	100.0	0.0
	計	213	129	126	3	129	126	3	100.0	100.0	0.0
工業	男	555	373	315	58	373	315	58	100.0	100.0	0.0
	女	76	49	45	4	49	45	4	100.0	100.0	0.0
	計	631	422	360	62	422	360	62	100.0	100.0	0.0
商業	男	153	78	76	2	78	76	2	100.0	98.7	1.3
	女	302	143	138	5	143	138	5	100.0	100.0	0.0
	計	455	221	214	7	221	214	7	100.0	99.6	0.4
専門	男	116	0	0	0	0	0	0	***	100.0	***
	女	100	1	1	0	0	0	0	0.0	***	***
	計	216	1	1	0	0	0	0	0.0	100.0	-100.0
総合	男	444	161	144	17	161	144	17	100.0	99.2	0.8
	女	585	130	124	6	129	123	6	99.2	98.5	0.7
	計	1029	291	268	23	290	267	23	99.7	98.9	0.8
合計	男	3259	751	663	88	751	662	89	100.0	99.3	0.7
	女	3130	440	419	21	433	413	20	98.4	98.7	-0.3
	計	6389	1191	1082	109	1184	1075	109	99.4	99.1	0.3

2 定時制											
学科	性別計	卒業者	就職希望者			就職者			率 %	率 %	対比
			県内	県外		県内	県外				
普通	男	58	31	28	3	25	23	2	80.6	82.4	-1.8
	女	64	32	30	2	30	28	2	93.8	73.1	20.7
	計	122	63	58	5	55	51	4	87.3	78.3	9.0
工業	男	14	13	13	0	13	13	0	100.0	100.0	0.0
	女	1	1	1	0	1	1	0	100.0	***	***
	計	15	14	14	0	14	14	0	100.0	100.0	0.0
商業	男	15	8	8	0	8	8	0	100.0	66.7	33.3
	女	21	10	9	1	8	7	1	80.0	90.0	-10.0
	計	36	18	17	1	16	15	1	88.9	81.3	7.6
合計	男	87	52	49	3	46	44	2	88.5	86.2	2.3
	女	86	43	40	3	39	36	3	90.7	77.8	12.9
	計	173	95	89	6	85	80	5	89.5	83.0	6.5

3 全体(全日制+定時制)											
学科	性別計	卒業者	就職希望者			就職者			率 %	率 %	対比
			県内	県外		県内	県外				
普通	男	1925	98	86	12	92	80	12	93.9	91.0	2.9
	女	2042	92	85	7	85	79	6	92.4	86.9	5.5
	計	3967	190	171	19	177	159	18	93.2	89.1	4.1
農業	男	124	72	70	2	72	70	2	100.0	100.0	0.0
	女	89	57	56	1	57	56	1	100.0	100.0	0.0
	計	213	129	126	3	129	126	3	100.0	100.0	0.0
工業	男	569	386	328	58	386	328	58	100.0	100.0	0.0
	女	77	50	46	4	50	46	4	100.0	100.0	0.0
	計	646	436	374	62	436	374	62	100.0	100.0	0.0
商業	男	168	86	84	2	86	84	2	100.0	96.4	3.6
	女	323	153	147	6	151	145	6	98.7	99.5	-0.8
	計	491	239	231	8	237	229	8	99.2	98.5	0.7
専門	男	116	0	0	0	0	0	0	***	100.0	***
	女	100	1	1	0	0	0	0	0.0	***	***
	計	216	1	1	0	0	0	0	0.0	100.0	-100.0
総合	男	444	161	144	17	161	144	17	100.0	99.2	0.8
	女	585	130	124	6	129	123	6	99.2	98.5	0.7
	計	1029	291	268	23	290	267	23	99.7	98.9	0.8
合計	男	3346	803	712	91	797	706	91	99.3	98.3	1.0
	女	3216	483	459	24	472	449	23	97.7	97.2	0.5
	計	6562	1286	1171	115	1269	1155	114	98.7	97.9	0.8

4 内定(決定)率(%)の推移										
区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
10月内定率	70.6	66.0	68.4	58.4	66.7	60.2	62.4	69.0	73.4	75.9
12月内定率	85.3	83.1	85.0	78.7	85.8	84.4	84.3	90.2	90.7	92.9
3月決定率	97.2	94.7	94.9	93.1	95.0	96.4	95.5	97.5	97.9	98.7

区分	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
10月内定率	74.7	75.5	70.5	69.1	69.5	61.8	57.9	51.9	60.0	62.6
12月内定率	88.1	88.3	81.2	84.3	83.5	76.4	76.1	72.6	75.5	82.9
3月決定率	96.1	95.6	92.7	93.2	94.0	90.5	91.7	92.0	93.6	94.5

(平成28年5月26日 定例教育委員会)

課室名

新しい学校づくり推進室

件名	平成29年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法について (甲陵高等学校を除く全日制課程)																																																						
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成10年度入学者選抜から、全日制課程の全ての県立高等学校で推薦入試(学校推薦)を実施。 ○ 平成19年度入学者選抜から、「学校推薦」に代わって、希望する誰もが受検できる「自己推薦」を導入し、前期募集として実施。 ○ 平成28年5月11日、定例教育委員会で平成29年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項を決定。 																																																						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前期募集の概要 <ul style="list-style-type: none"> 1 募集定員に対する募集率 募集定員のうち、次の(1)から(4)の中から各高等学校長が決定した比率を基に定める。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">(1) 普通科(コースを指定する場合を含む。)</td> <td style="text-align: right;">募集定員の40%以内</td> </tr> <tr> <td>(2) 専門教育学科</td> <td style="text-align: right;">募集定員の40%以内</td> </tr> <tr> <td>(3) 職業に関する学科</td> <td style="text-align: right;">募集定員の50%以内</td> </tr> <tr> <td>(4) 総合学科</td> <td style="text-align: right;">募集定員の50%以内</td> </tr> </table> 2 検査方法について 面接のほか、各高等学校長が必要と認める場合は、特色適性検査、特技、個性表現のいずれか(複数可)を併せて実施する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学 科</th> <th colspan="2">特色適性検査</th> <th colspan="2">特 技</th> <th colspan="2">個性表現</th> </tr> <tr> <th>実施校</th> <th>実施学科</th> <th>実施校</th> <th>実施学科</th> <th>実施校</th> <th>実施学科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通科 【全18校】</td> <td style="text-align: center;">18 (18)</td> <td style="text-align: center;">18 (18)</td> <td style="text-align: center;">18 (18)</td> <td style="text-align: center;">18 (18)</td> <td style="text-align: center;">1 (1)</td> <td style="text-align: center;">1 (1)</td> </tr> <tr> <td>専門教育学科 【全6校】</td> <td style="text-align: center;">6 (6)</td> <td style="text-align: center;">6 (6)</td> <td style="text-align: center;">2 (2)</td> <td style="text-align: center;">2 (2)</td> <td style="text-align: center;">0 (0)</td> <td style="text-align: center;">0 (0)</td> </tr> <tr> <td>職業に関する学科 【全9校 全20学科】</td> <td style="text-align: center;">9 (9)</td> <td style="text-align: center;">20 (20)</td> <td style="text-align: center;">8 (8)</td> <td style="text-align: center;">15 (15)</td> <td style="text-align: center;">3 (3)</td> <td style="text-align: center;">8 (8)</td> </tr> <tr> <td>総合学科 【全6校】</td> <td style="text-align: center;">6 (6)</td> <td style="text-align: center;">6 (6)</td> <td style="text-align: center;">6 (6)</td> <td style="text-align: center;">6 (6)</td> <td style="text-align: center;">1 (1)</td> <td style="text-align: center;">1 (1)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ※()内は昨年度実績値 ※一括募集は1学科としてカウント <ul style="list-style-type: none"> 3 選抜方法について 当該高等学校が定める「選抜資料比重」に基づき、調査書、面接、所見、特色適性検査、特技及び個性表現の成績を総合判定して行う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 詳細については、別添のとおり。 						(1) 普通科(コースを指定する場合を含む。)	募集定員の40%以内	(2) 専門教育学科	募集定員の40%以内	(3) 職業に関する学科	募集定員の50%以内	(4) 総合学科	募集定員の50%以内	学 科	特色適性検査		特 技		個性表現		実施校	実施学科	実施校	実施学科	実施校	実施学科	普通科 【全18校】	18 (18)	18 (18)	18 (18)	18 (18)	1 (1)	1 (1)	専門教育学科 【全6校】	6 (6)	6 (6)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	職業に関する学科 【全9校 全20学科】	9 (9)	20 (20)	8 (8)	15 (15)	3 (3)	8 (8)	総合学科 【全6校】	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	1 (1)	1 (1)
(1) 普通科(コースを指定する場合を含む。)	募集定員の40%以内																																																						
(2) 専門教育学科	募集定員の40%以内																																																						
(3) 職業に関する学科	募集定員の50%以内																																																						
(4) 総合学科	募集定員の50%以内																																																						
学 科	特色適性検査		特 技		個性表現																																																		
	実施校	実施学科	実施校	実施学科	実施校	実施学科																																																	
普通科 【全18校】	18 (18)	18 (18)	18 (18)	18 (18)	1 (1)	1 (1)																																																	
専門教育学科 【全6校】	6 (6)	6 (6)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)																																																	
職業に関する学科 【全9校 全20学科】	9 (9)	20 (20)	8 (8)	15 (15)	3 (3)	8 (8)																																																	
総合学科 【全6校】	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	1 (1)	1 (1)																																																	

平成29年度前期募集選抜方法等について

区 分	平成29年度の内容	備 考												
募集率	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 普通科 40%以内 専門教育学科 40%以内 職業に関する学科 50%以内 総合学科 50%以内 </div> <p>普通科 18校《40%1校、35%2校、30%9校、20%2校 15%1校 10%2校、7%1校》 専門教育学科 6校《40%2校、30%2校、25%1校、15%1校》 職業に関する学科 9校《50%4校、40%2校、35%1校、30%1校、10%1校》 総合学科 6校《50%2校、40%2校、35%1校、20%1校》</p>	【募集率】 $\frac{\text{前期募集人員}}{\text{全定員}} \times 100$												
検査方法	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 面接のほか、各高等学校長が必要と認める場合は、特色適性検査、特技、個性表現のいずれか（複数可）を併せて実施する。 </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">面接</td> <td> ○個別のみ 25校 ○集団のみ 2校《北杜、甲府工業》 ○個別または集団 1校《甲府西》 </td> </tr> <tr> <td>特色適性検査</td> <td>28校が実施（28校）</td> </tr> <tr> <td>特技</td> <td>27校が実施（27校） 実施しない学校 1校《甲府工業》</td> </tr> <tr> <td>個性表現</td> <td>4校が実施（4校） 実施する学校《北杜、韮崎工業、甲府工業、甲府商業》</td> </tr> </table>	面接	○個別のみ 25校 ○集団のみ 2校《北杜、甲府工業》 ○個別または集団 1校《甲府西》	特色適性検査	28校が実施（28校）	特技	27校が実施（27校） 実施しない学校 1校《甲府工業》	個性表現	4校が実施（4校） 実施する学校《北杜、韮崎工業、甲府工業、甲府商業》	学校ごとに求める生徒像に沿って特色ある選抜方法を工夫し、実施している。 （ ）は28年度入試実績				
面接	○個別のみ 25校 ○集団のみ 2校《北杜、甲府工業》 ○個別または集団 1校《甲府西》													
特色適性検査	28校が実施（28校）													
特技	27校が実施（27校） 実施しない学校 1校《甲府工業》													
個性表現	4校が実施（4校） 実施する学校《北杜、韮崎工業、甲府工業、甲府商業》													
選抜資料比重	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【選抜資料比重】 選抜に当たって、各校が定める判定項目の採点比重 </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">調査書</td> <td> ○最高60%：甲府第一、増穂商業、山梨 ○最低20%：農林、塩山 </td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td> ○最高30%：北杜、韮崎工業、甲府東、農林、峡南 ○最低5%：甲府南 </td> </tr> <tr> <td>所見</td> <td> ○最高10%：甲府工業、甲府城西、農林、巨摩、白根、市川、身延、塩山、上野原、都留興譲館、富士河口湖 ○最低5%：北杜、韮崎、韮崎工業、甲府第一、甲府西、甲府南、甲府東、甲府昭和、増穂商業、市川、峡南、笛吹、日川、山梨、都留、吉田、富士北稜、甲府商業 </td> </tr> <tr> <td>特色適性検査</td> <td> ○最高45%：吉田 ○最低10%：日川 </td> </tr> <tr> <td>特技</td> <td> ○最高40%：甲府西、日川 ○最低10%：甲府南、甲府東、甲府城西、峡南、都留興譲館、富士河口湖 </td> </tr> <tr> <td>個性表現</td> <td> ○最高20%：北杜、韮崎工業、甲府工業 ○最低15%：甲府商業 </td> </tr> </table>	調査書	○最高60%：甲府第一、増穂商業、山梨 ○最低20%：農林、塩山	面接	○最高30%：北杜、韮崎工業、甲府東、農林、峡南 ○最低5%：甲府南	所見	○最高10%：甲府工業、甲府城西、農林、巨摩、白根、市川、身延、塩山、上野原、都留興譲館、富士河口湖 ○最低5%：北杜、韮崎、韮崎工業、甲府第一、甲府西、甲府南、甲府東、甲府昭和、増穂商業、市川、峡南、笛吹、日川、山梨、都留、吉田、富士北稜、甲府商業	特色適性検査	○最高45%：吉田 ○最低10%：日川	特技	○最高40%：甲府西、日川 ○最低10%：甲府南、甲府東、甲府城西、峡南、都留興譲館、富士河口湖	個性表現	○最高20%：北杜、韮崎工業、甲府工業 ○最低15%：甲府商業	
調査書	○最高60%：甲府第一、増穂商業、山梨 ○最低20%：農林、塩山													
面接	○最高30%：北杜、韮崎工業、甲府東、農林、峡南 ○最低5%：甲府南													
所見	○最高10%：甲府工業、甲府城西、農林、巨摩、白根、市川、身延、塩山、上野原、都留興譲館、富士河口湖 ○最低5%：北杜、韮崎、韮崎工業、甲府第一、甲府西、甲府南、甲府東、甲府昭和、増穂商業、市川、峡南、笛吹、日川、山梨、都留、吉田、富士北稜、甲府商業													
特色適性検査	○最高45%：吉田 ○最低10%：日川													
特技	○最高40%：甲府西、日川 ○最低10%：甲府南、甲府東、甲府城西、峡南、都留興譲館、富士河口湖													
個性表現	○最高20%：北杜、韮崎工業、甲府工業 ○最低15%：甲府商業													
調査書（学習の記録）の扱い	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">評定</td> <td> ○評定に傾斜を付ける学校 14校 北杜、韮崎、韮崎工業、甲府第一、甲府西、甲府南、甲府東、甲府工業、巨摩、白根、市川、日川、都留、都留興譲館 </td> </tr> <tr> <td>評価対象学年</td> <td>○第1学年から第3学年 28校</td> </tr> </table>	評定	○評定に傾斜を付ける学校 14校 北杜、韮崎、韮崎工業、甲府第一、甲府西、甲府南、甲府東、甲府工業、巨摩、白根、市川、日川、都留、都留興譲館	評価対象学年	○第1学年から第3学年 28校	各学校で、評価の対象とする学年を指定したり、各教科に傾斜を付けることができる。								
評定	○評定に傾斜を付ける学校 14校 北杜、韮崎、韮崎工業、甲府第一、甲府西、甲府南、甲府東、甲府工業、巨摩、白根、市川、日川、都留、都留興譲館													
評価対象学年	○第1学年から第3学年 28校													

前期募集方法の年度比較

区分		平成29年度	平成28年度	備考
募集率	上げた高校	5校	3校	
	同じ高校	21校	24校	
	下げた高校	2校	1校	
面接	個別面接	25校	25校	増減なし
	集団面接	2校	2校	増減なし
	個別または集団	1校	1校	増減なし
	個別＋集団	0校	0校	増減なし
特色適性検査	特色適性検査を課す学校	28校	28校	増減なし
特技	特技を課す学校	27校	27校	増減なし
個性表現	個性表現を課す学校	4校	4校	増減なし
選抜資料比重	調査書	最高60% 最低20%	最高60% 最低20%	
	面接	最高30% 最低5%	最高30% 最低5%	
	所見	最高10% 最低5%	最高10% 最低5%	
	特色適性検査	最高45% 最低10%	最高45% 最低10%	
	特技	最高40% 最低10%	最高40% 最低10%	
	個性表現	最高20% 最低15%	最高20% 最低15%	
調査書(学習の記録)の扱い				
評定	評定に傾斜を付ける学校	14校	14校	増減なし
評価対象学年	第1学年から第3学年	28校	28校	増減なし
	第3学年	0校	0校	増減なし

平成29年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法等一覧

□ は昨年度からの変更箇所(公表時網掛けなし。)

番号	学校名	募集率				特色活性検査	特 技	個性表現	学校名	選 抜 資 料 比 重										調査書の「学習の記録」の取り扱い	
		学科	比率(%) (以内)	種別(分)	重率(分)					選抜区分	出願の条件	調査書	面接	所見	特色活性検査	特技	個性表現	備 考	評定の傾斜倍率	対象学年	
																					時間(分)
1	北社	普通科	30	—	40程度	50	実績を証明する書類等による審査 特技に関わる発表・表現	北社	普通科A	中学校の学習活動で優れた成績、入学後も継続して努力	45	30	5	20	—	—	5教科の評定2倍	第1学年から第3学年			
		普通科B							スポーツ・文化活動で実績、入学後も活動	35	20	5	—	20	20	前期募集人員の2/5以上					
		総合学科A							中学校の学習活動で優れた成績、入学後も継続して努力	45	30	5	20	—	—	前期募集人員の2/5以上					
		総合学科B							スポーツ・文化活動で実績、入学後も活動	35	20	5	—	20	20						
2	塩崎	普通科	30	10程度	—	50	活動実績報告書による書類審査	塩崎	普通科A	明確で高い目標を持ち、自らの進路実現のために努力	45	20	5	30	—	5教科の評定2倍 第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年				
		普通科B							体育活動・文化活動で実績・活躍、入学後も学業と両立させながら活動	40	20	5	20	15	前期募集人員の40%以内						
		文理科							学習意欲と知的探究心を持ち、進路目標達成を目指して努力	50	15	5	30	—	—						
3	塩崎工業	全学科	40	15程度	—	50	実績として提出された証明書等の書類審査 申請書の内容について発表・表現(5分程度)	塩崎工業	A	学習に対する興味・関心	50	30	5	15	—	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年				
									B	体育・文化活動・科学技術・ものづくりにおいて実績	30	30	5	15	20			—			
									C	体育・文化活動、科学技術、ものづくり、ボランティア・生徒会活動等に興味・関心	30	30	5	15	—			20			
4	甲府第一	普通科	10	10程度	—	80程度	実績を証明する資料等による書類審査	甲府第一	普通科	スポーツ・文化活動で優秀な成績、入学後も活動	40	10	5	15	30	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年				
		探究科	スーパーグローバルハイスクールに興味・関心						80	10	5	25	—	—							
5	甲府西	普通科	30	15程度	(30程度)	50	条件B中言語及び関係書類による書類審査	甲府西	A	学習活動において優れた成績を収めた者	50	20	5	25	—	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年				
				—	30程度				—	30	25	5	—	40	—			前期募集人員の30%以内			
6	甲府南	普通科	10	10程度	(20程度)	80程度	活動実績報告書及び添付書類による書類審査	甲府南	普通科A	数学・理科の成績が優秀	50	10	5	35	—	評定は数・理2倍、国・社・英1.5倍	第1学年から第3学年				
		普通科B	生徒会活動・部活動・ボランティア活動等で実績、入学後も活動						40	10	5	25	20	前期募集人員の40%以内							
		理数科A	数学・理科の成績が優秀						50	5	5	40	—	—							
		理数科B	生徒会活動・部活動・ボランティア活動等で実績、入学後も活動						40	5	5	40	10	—							
7	甲府東	普通科	7	15程度	—	80程度	関係書類による書類審査	甲府東	普通科(理数コース除く)	スポーツ・芸術・文化で実績・能力、入学後も活動	30	30	5	—	35	第1学年:第2学年:第3学年=1:2:3	第1学年から第3学年				
				60程度		関係書類による書類審査	理数コース		強い学習意欲、理数科目に興味・関心	40	15	5	30	10	—			5名以内			
8	甲府工業	全学科	50	—	15程度	50	発表・表現(5分以内)	甲府工業	A	学習成績良好、将来の目標、ものづくりに興味関心	50	20	10	20	—	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年				
									B	学校指定のスポーツ・文化活動で実績があり、入学後も活動	50	20	10	—	—			20			
9	甲府城西	総合学科	40	15程度	—	70	調査書や活動実績を証明する資料等による書類審査	甲府城西	A	学習を通じて将来の夢を実現するため努力	50	15	10	25	—	前期募集人員の1/4程度	第1学年から第3学年				
									B	学校が指定する部で継続して活動	50	15	10	15	10			—	前期募集人員の3/4程度		
10	甲府昭和	普通科	15	15程度	—	50	活動実績報告書及び添付書類による書類審査	甲府昭和	普通科	中学校で学業と部活動を両立させ、入学後も積極的に活動	40	20	5	15	20	—	第1学年から第3学年				
11	農林	全学科	50	10~15程度	—	50	活動実績報告書による書類審査	農林	A	明確な進路目標を持つ	40	30	10	20	—	第1学年から第3学年					
									B	スポーツ・芸術文化活動に実績があり、活動実績報告書を提出	20	30	10	20	20		—				
12	巨摩	普通科	40	10程度	—	50	活動実績報告書による書類審査	巨摩	A	学習成績が優れており、大学進学意志を有する者	50	10	10	30	—	5教科の評定2倍 第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年				
									B	体育・文化活動で実績・活躍、入学後も継続	30	10	10	15	35			—	前期募集人員の60%程度		
									理数創造コース	理数科目や英語に興味・関心、国公立大学等への進学意志	50	10	10	30	—			—	理数創造コース募集人員の40%以内		
13	白根	普通科	35	10程度	—	60	実績報告書等による書類審査	白根	A	将来の目標を持ち進路実現に向けて努力する者	50	20	10	20	—	5教科の評定2倍 第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年				
									B	学校が指定する部・生徒会役員で活躍、入学後も活動	30	20	10	20	20			—			
14	増穂商業	全学科	40	10程度	—	50	活動実績報告書等による書類審査	増穂商業	A	資格取得への意欲を持ち、進路目標を実現する意思	60	20	5	15	—	第1学年から第3学年					
									B	学校が指定する種目の部活動で実績・貢献、入学後も活動	30	20	5	15	30		—				
15	市川	普通科	30	10程度	—	50	活動実績等証明書による書類審査	市川	普通科A	学習成績・学級活動・生徒会活動・学校行事等で実績	55	20	5	20	—	前期募集人員の2/3程度	第3学年の5教科の評定2倍				
		普通科B	指定された体育的・文化的活動で能力・適性、入学後も活動						30	20	10	20	20	—	前期募集人員の1/3程度						
		英語科	学習成績・学級活動・生徒会活動・学校行事等で実績						55	20	5	20	—	—							
16	峡南	全学科	10	15程度	—	50	活動実績報告書等による書類審査	峡南	A	知識・技能の修得に意欲的、各学科で中心的に活躍	40	30	5	25	—	第1学年から第3学年					
									B	部活動等での実績、学校が指定する部活動等での入学後も活動	40	30	5	15	10		—				
17	身延	総合学科	50	15程度	—	50	実績証明書による書類審査	身延	A	進学など自己の進路目標を持ち努力	50	20	10	20	—	第1学年から第3学年					
									B	スポーツ活動・文化活動等で実力・能力	25	20	10	20	25		—				
18	富次	普通科	30	10程度	—	60程度	実績報告書または活動実績証明書による書類審査	富次	普通科A	中学校での学習内容を確実に身につけ、学習活動に取り組む	50	20	5	25	—	第1学年から第3学年					
		普通科B	学習活動に真面目に取り組む、部活動等で実績・能力、入学後も活動						40	10	5	25	20	—							
		農業科A	中学校での学習内容を確実に身につけ、学習活動に取り組む						50	20	5	25	—	—							
		農業科B	学習活動に真面目に取り組む、部活動等で実績・能力、入学後も活動						40	10	5	25	20	—							
		総合学科A	中学校での学習内容を確実に身につけ、学習活動に取り組む						50	20	5	25	—	—							
		総合学科B	学習活動に真面目に取り組む、部活動等で実績・能力、入学後も活動						40	10	5	25	20	—							
19	日川	普通科	35	15程度	—	50	実績や資格を証明できる資料による書類審査	日川	A	学習に興味関心、目標に向かって強い意欲	50	15	5	30	—	前期募集人員の2/3程度	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2				
									B	体育的活動、文化的活動で能力・成績、入学後も活動	30	15	5	10	40			—	前期募集人員の1/3程度		
20	山梨	普通科	30	15程度	—	50	条件B志願書による書類審査	山梨	A	向学心旺盛、外国文化または自然科学に興味・関心	60	15	5	20	—	第1学年から第3学年					
									B	部活動、生徒会・学級役員等、資格・検定試験等で成果	30	15	5	20	30		—				

平成29年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法等一覧

は昨年度からの変更箇所(公表時網掛けなし。)

番号	学校名	募集率		面接		特色適性検査	特 技	個性表現	学校名	選 抜 資 料 比 重								調査書の「学習の記録」の取り扱い		
		学科	比率(%) (以内)	個別(分)	集団(分)					時間(分)	選抜区分	出願の条件	調査書	面接	所見	特色適性検査	特技	個性表現	備 考	評定の傾斜倍率
21	塩山	普通科	30	10程度	-	50			塩山	普通科A	学習に対する興味・関心	40	20	10	30	-	-			
										普通科B	体育・文化の部活動で実績・実力、入学後も活動	20	20	10	20	30	-			
		商業科 全学科	30							商業科A	学習に対する興味・関心	40	20	10	30	-	-			
										商業科B	体育・文化の部活動で実績・実力、入学後も活動	20	20	10	20	30	-			
22	都留	普通科	20	10程度	-	50			都留	A	学習成績優秀、大学進学を目指し意欲的に取り組む	50	15	5	30	-	-	前期募集人員の50%程度	5教科の評定2倍	第1学年から第3学年
										B	体育的・文化的活動・各種検定で実績・実力	50	15	5	-	30	-	前期募集人員の50%程度		
23	上野原	総合学科	20	10程度	-	50			上野原	A	学習・学校活動・生徒会活動等の取り組み	50	15	10	25	-	-			第1学年から第3学年
										B	部活動・地域における諸活動・習い事等を入学後も活動	25	15	10	25	25	-			
24	都留興譲館	普通科	30	10程度	-	50			都留興譲館	普通科A	学習活動で優れた成績、大学進学への意欲が強い	40	20	10	20	10	-	数・理・英の評定2倍	第1学年から第3学年	
										普通科B	体育活動・文化的活動で能力・適性・実績を有する	30	20	10	20	20	-			
		英語理数科	30							英語理数科A	文系教科で優れた成績、高い学習意欲・大学進学への意欲が強い	40	15	10	25	10	-			
										英語理数科B	理系教科で優れた成績、高い学習意欲・大学進学への意欲が強い	40	15	10	25	10	-			
		工業科全学科	35							10程度							工業科A			学習活動で優れた成績、工業系大学進学や地域企業への就職に意欲
										工業科B	工業に関心があり、体育活動・文化的活動で実績を有する	30	25	10	15	20	-	前期募集人員の70%程度		
25	吉田	普通科	20	10程度	-	60			吉田	普通科A	学習成績優秀、学校行事・生徒会活動・ボランティア活動に参加	45	15	5	35	-	-	前期募集人員の50%程度		第1学年から第3学年
										普通科B	学習成績優良、体育活動・文化活動で実績	35	15	5	15	30	-	前期募集人員の50%程度		
		理数科	15			80				理数科	学習成績優秀、知的探究心、理数教科に関心、学校行事等に参加	35	15	5	45	-	-			
26	富士北校	総合学科	40	10程度	-	50			富士北校	総合学科	学習のほか、特別活動や校外活動などでも実績	40	15	5	20	20	-			第1学年から第3学年
27	富士河口湖	普通科	30	10程度	-	50			富士河口湖	A	学習成績に優れ、進路実現を目指し努力	45	15	10	30	-	-		第1学年から第3学年	
										B	部活動等で実績・能力、入学後も活動	35	25	10	15	15	-			
										C	生徒会活動・ボランティア活動、国際交流活動等、英検・漢検等に取組み入学後も継続	35	25	10	20	10	-			
28	甲府商業	全学科	50	10程度	-	60			甲府商業	A	学習や資格取得に意欲	55	20	5	20	-	-		第1学年から第3学年	
										B	学校が指定する種目での体育活動で能力、入学後も活動	45	20	5	-	15	15			

注1) 面接の「集団」欄の()書きは、志願者数により集団面接に変更した場合の時間です。

注2) 「出願の条件」の具体的な内容は、冊子の該当ページで確認してください。

注3) 「特色適性検査」の特記事項は、冊子の該当ページで確認してください。

注4) 調査書の「学習の記録」の取り扱い欄に記載のない高校は、教科及び学年で傾斜をかけません。

【普通科のコース指定について】

北杜高校の理数コース、自津高校の理数創造コース及び塩山高校の英数コースのコースへの指定は、まず普通科の合格者を決定した後、コースを希望する者を対象として、得点の上位順に指定します。
甲府東高校の理数コースでは、普通科とは別枠でコース希望者を選抜します。
白根高校の文理コース及び山梨高校の英理総合コースは、普通科の合格発表後に希望をとり、学校が別に実施する学力検査等により指定します。

北杜	理数コース	45	30	5	20	-	-	条件A	5教科の評定2倍	第1学年から第3学年
		35	20	5	-	20	20	条件B		
甲府東	理数コース	40	15	5	30	10	-	5名以内	数・理・英の評定2倍 第1学年・第2学年・第3学年=1:2:3	第1学年から第3学年
巨摩	理数創造コース	50	10	10	30	-	-		5教科の評定2倍 第1学年・第2学年・第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年
白根	文理コース	普通科の合格発表後に希望をとり、学校が別に実施する学力検査等により指定する。								
山梨	英理総合コース	普通科の合格発表後に希望をとり、学校が別に実施する学力検査等により指定する。								
塩山	英数コース	40	20	10	30	-	-	条件A		第1学年から第3学年
		20	20	10	20	30	-	条件B		

平成28年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法等一覧

【参考】

番号	学校名	募集率		面接		特色適性検査 時間(分)	特 技	個性表現	学校名	選 抜 資 料 比 重							調査書の「学習の記録」の取り扱い		
		学科	比率(%) (以内)	個別(分)	集団(分)					選抜区分	出願の条件	調査書	面接	所見	特色適性 検査	特技	個性表現	備 考	評定の傾斜倍率
1	北杜	普通科	30	-	40程度	50	実績を証明する書類等による審査 特技に関わる発表・表現	北杜	普通科A	中学校の学習活動で優れた成績、入学後も継続して努力	45	30	5	20	-	-	5教科の評定2倍	第1学年から第3学年	
		総合学科	35			50			普通科B	スポーツ・文化活動で実績、入学後も活動	35	20	5	-	20	20			前期募集人員の1/3を上乗
2	韮崎	普通科	30	10程度	-	50	活動実績報告書による書類審査	韮崎	普通科A	明確で高い目標を持ち、自らの進路実現のために努力	45	20	5	30	-	-	5教科の評定2倍 第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
		文理科	40			50			普通科B	体育活動・文化活動で実績・活躍、入学後も活動	40	20	5	20	15	-			前期募集人員の1/3程度
3	韮崎工業	全学科	40	15程度	-	50	実績として提出された証明書等の書類審査 発表・表現(5分程度)	韮崎工業	A	学習に対する興味・関心	50	30	5	15	-	-	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
						B			体育・文化活動・科学技術・ものづくりにおいて実績	30	30	5	15	20	-				
4	甲府第一	普通科	10	10程度	-	約60	実績を証明する資料等による書類審査	甲府第一	普通科	スポーツ・文化活動で優秀な成績、入学後も活動	40	10	5	20	25	-	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
		探究科	20						探究科	スーパーグローバルハイスクールに興味・関心	60	10	5	25	-	-			
5	甲府西	普通科	30	15程度	(30程度)	60	条件B中台書及び関係書類による書類審査	甲府西	A	学習活動において優れた成績を修めた者	50	20	5	25	-	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年		
				-	30程度				-	B	スポーツ・文化等で実績・能力、入学後も活動	30	25	5	-			40	-
6	甲府南	普通科	10	10程度	(20程度)	60程度	活動報告書及び添付書類による書類審査	甲府南	普通科A	数学・理科の成績が優秀	50	10	5	35	-	評定は数・理2倍、国・社・英1.5倍	第1学年から第3学年		
		理数科	30			90程度			普通科B	生徒会活動・部活動・ボランティア活動等で実績、入学後も活動	40	10	5	25	20			-	5教科の評定1.5倍
7	甲府東	普通科	5	15程度	-	60程度	関係書類による書類審査	甲府東	普通科	スポーツ・芸術・文化で実績・能力、入学後も活動	30	30	5	-	35	-	10名以内	第1学年:第2学年:第3学年=1:2:3	第1学年から第3学年
						理数コース			強い学習意欲、理数科目に興味・関心	40	15	5	25	15	-	4名以内	数・理・英の評定2倍 第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2		
8	甲府工業	全学科	50	-	15程度	60	発表・表現(5分以内)	甲府工業	A	学習成績、将来の目標、ものづくりに興味関心	50	20	10	20	-	-	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
						-			B	スポーツ・文化活動で実績があり、入学後も活動	50	20	10	-	-	20			
9	甲府城西	総合学科	40	15程度	-	70程度	調査書や活動実績を証明する資料等による書類審査	甲府城西	A	学習を通じて将来の夢を実現するため努力	50	15	10	25	-	-	前期募集人員の1/4程度	第1学年から第3学年	
						-			B	学校が指定する部で継続して活動	50	15	10	15	10	-	-		前期募集人員の3/4程度
10	甲府昭和	普通科	10	15程度	-	50	活動実績報告書及び添付書類による書類審査	甲府昭和	普通科	中学校で学業と部活動を両立させ、入学後も積極的に活動	50	20	5	15	10	-	-	第1学年から第3学年	
11	農林	全学科	50	10~15程度	-	50	実績証明書類による書類審査	農林	A	明確な進路目標を持つ	40	30	10	20	-	-	第1学年から第3学年		
						B			スポーツ・芸術文化活動に実績があり、実績証明書類を提出	20	30	10	20	20	-				
12	巨摩	普通科	40	10程度	-	50	活動実績等報告書による書類審査	巨摩	普通科A	学習成績が優れており、大学進学意欲を有する者	50	10	10	30	-	-	5教科の評定2倍 第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
						普通科B			体育・文化活動で実績・活躍、入学後も継続	30	10	10	15	35	-	-			進路コースを除く前期募集人員の50%程度
13	白根	普通科	30	10程度	-	60	独自書類等による書類審査	白根	A	進学など将来の希望を実現する意志	50	20	10	20	-	-	5教科の評定2倍 第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
						B			学校が指定する部で活躍、入学後も活動	30	20	10	20	20	-	-			進路コースを除く前期募集人員の50%程度
14	増穂商業	全学科	40	10程度	-	50	活動実績報告書等による書類審査	増穂商業	A	資格取得への意欲を持ち、進路目標を実現する意思	60	20	5	15	-	-	第1学年から第3学年		
						B			学校が指定する種目の部活動で実績・貢献、入学後も活動	30	20	5	15	30	-	-			
15	市川	普通科	30	10程度	-	50	活動実績等証明書による書類審査	市川	普通科A	学習成績・学級活動・生徒会活動・学校行事等で実績	55	20	5	20	-	-	前期募集人員の2/3程度	第3学年の5教科の評定2倍	第1学年から第3学年
		英語科	40						普通科B	指定された体育的・文化的活動で能力・適性、入学後も活動	30	20	10	20	20	-	-	前期募集人員の1/3程度	
16	峡南	全学科	20	15程度	-	50	活動実績報告書等による書類審査	峡南	A	知識・技能の修得に意欲的、各学科で中心的に活躍	45	25	5	25	-	-	第1学年から第3学年		
						B			部活動等での実績、学校が指定する部活動等での入学後も活動	35	25	5	25	10	-	-			
17	身延	総合学科	50	15程度	-	50程度	実績証明書による書類審査	身延	A	進学など自己の進路目標を持ち努力	50	20	10	20	-	-	第1学年から第3学年		
						B			スポーツ活動・文化活動等で実力・能力	25	20	10	20	25	-	-			
18	笛吹	普通科	30	10程度	-	80程度	実績報告書または運動適性証明書による書類審査	笛吹	普通科A	中学校での学習内容を確実に身につけ、学習活動に取り組む	50	20	5	25	-	-	前期募集人員の30%程度を上乗	第1学年から第3学年	
		農業科 全学科	50						普通科B	学習活動に真面目に取り組み、部活動等で実績・能力、入学後も活動	40	10	5	25	20	-			-
19	日川	普通科	35	15程度	-	50	実績や資格を証明できる資料による書類審査	日川	A	学習に興味関心、目標に向かって強い意欲	60	15	5	20	-	-	前期募集人員の2/3程度	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年
						B			体育的活動、文化的活動で能力・成績、入学後も活動	30	15	5	10	40	-	-	前期募集人員の1/3程度		
20	山梨	普通科	30	15程度	-	50	条件B志願票による書類審査	山梨	A	向学心旺盛、外国文化または自然科学に興味・関心	60	15	5	20	-	-	第1学年から第3学年		
						B			部活動、生徒会・学級委員等、資格・検定試験等で成果	30	15	5	20	30	-	-			

平成28年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法等一覧

【参考】

番号	学校名	募集率		面接		特色適性検査	特 技	個性表現	学校名	選 抜 資 料 比 重							調査書の「学習の記録」の取り扱い			
		学科	比率(%) (以内)	個別(分)	集団(分)					時間(分)	選抜区分	出願の条件	調査書	面接	所見	特色適性 検査	特技	個性表現	備 考	評定の傾斜倍率
21	塩山	普通科	30	10程度	-	50	実績報告書または実績・実力証明書による書類審査		塩山	普通科A	学習に対する興味・関心	40	20	10	30	-	-			第1学年から第3学年
		普通科B	体育・文化の部活動で実績・実力、入学後も活動							20	20	10	20	30	-					
		商業科A	学習に対する興味・関心							40	20	10	30	-	-					
		商業科B	体育・文化の部活動で実績・実力、入学後も活動							20	20	10	20	30	-					
22	都留	普通科	20	10程度	-	50	提出書類の書類審査		都留	A	学習成績優秀、進学に意欲、理数系科目及び英語に高い学力	50	15	5	30	-	-	前期募集人員の50%程度	5教科の評定2倍	第1学年から第3学年
										B	体育的・文化的活動・各種検定で実績・実力	50	15	5	-	30	-	前期募集人員の50%程度		
23	上野原	総合学科	20	10程度	-	50	実績証明書による書類審査		上野原	A	学習・学級活動・生徒会活動等	50	20	5	25	-	-			第1学年から第3学年
										B	部活動・地域における諸活動・習い事等を入学後も活動	25	20	5	25	25	-			
24	都留興譲館	普通科	30	10程度	-	50	特技の申告書等による書類審査		都留興譲館	普通科A	学習活動に優れた成績、大学進学への意欲が強い	40	20	10	20	10	-	数・理・英の評定2倍	第1学年から第3学年	
		普通科B	体育活動・文化的活動で能力・適性・実績を有する							30	20	10	20	20	-					
		英語理数科A	文系教科の学習成績、とても高い学習意欲・大学進学への意欲が強い							40	15	10	25	10	-					
		英語理数科B	理系教科の学習成績、とても高い学習意欲・大学進学への意欲が強い							40	15	10	25	10	-					
		英語理数科C	学習成績、生徒会活動等に積極的でリーダーシップを発揮できる							35	15	10	20	20	-					
工業科A	工業科に関係したスペシャリストを目指す	40	25	10	15	10	-													
工業科B	工業に関心があり、体育活動・文化的活動で実績を有する	30	25	10	15	20	-													
25	吉田	普通科	25	10程度	-	60	活動実績申告書・選抜に関する記録の取捨選択による書類審査		吉田	普通科A	学習成績優秀、学校行事・生徒会活動・ボランティア活動に参加	45	15	5	35	-	-	前期募集人員の60%程度		第1学年から第3学年
										普通科B	学習成績優良、体育活動・文化活動で実績	35	15	5	15	30	-	前期募集人員の40%程度		
										理数科	学習成績優秀、知的探究心、理数教科に関心、学校行事等に参加	35	15	5	45	-	-			
26	富士北稜	総合学科	40	10程度	-	50	課外活動・活動実績証明書による書類審査		富士北稜	総合学科	学習、特別活動や校外活動などでも実績、充実した中学校生活	40	15	5	20	20	-			第1学年から第3学年
27	富士河口湖	普通科	30	10程度	-	50	実績申請書または運動適性証明書による書類審査 実績申請書による書類審査		富士河口湖	A	学習成績に優れ、進路実現を目指し努力	45	15	10	30	-	-			第1学年から第3学年
										B	部活動等で実績・能力、入学後も活動	35	25	10	15	15	-			
										C	生徒会活動・ボランティア活動、国際交流活動等、英検・漢検等に取組み入学後も継続	35	25	10	20	10	-			
28	甲府商業	全学科	50	10程度	-	60	実績・能力・適性に関する証明書による書類審査	表現・発表(5分以内)	甲府商業	A	学習や資格取得に意欲	55	20	5	20	-	-			第1学年から第3学年
										B	学校が指定する種目での体育活動で能力、入学後も活動	45	20	5	-	15	15			

- 注1) 面接の「集団」欄の()書きは、志願者数により集団面接に変更した場合の時間です。
- 注2) 「出願の条件」の具体的な内容は、冊子の該当ページで確認してください。
- 注3) 「特色適性検査」の特記事項は、冊子の該当ページで確認してください。
- 注4) 調査書の「学習の記録」の取り扱い欄に記載のない高校は、教科及び学年で傾斜をかけません。

【普通科のコース指定について】

北杜高校の理数コース、巨摩高校の理数コース及び塩山高校の英数コースのコースへの指定は、まず普通科の合格者を決定した後、コースを希望する者を対象として、得点の上位順に指定します。
甲府東高校の理数コースでは、普通科とは別枠でコース希望者を選抜します。
白根高校の文理コース及び山梨高校の英理総合コースは、普通科の合格発表後に希望をとり、学校が別に実施する学力検査等により指定します。

北杜	理数コース	45	30	5	20	-	-	条件A	5教科の評定2倍	第1学年から第3学年
		35	20	5	-	20	20	条件B		
甲府東	理数コース	40	15	5	25	15	-	4名以内	数・理・英の評定2倍 第1学年・第2学年・第3学年=1:2:3	第1学年から第3学年
巨摩	理数コース	50	10	10	30	-	-		5教科の評定2倍 第1学年・第2学年・第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年
白根	文理コース	普通科の合格発表後に希望をとり、学校が別に実施する学力検査等により指定する。								
山梨	英理総合コース	普通科の合格発表後に希望をとり、学校が別に実施する学力検査等により指定する。								
塩山	英数コース	40	20	10	30	-	-	条件A		第1学年から第3学年
		20	20	10	20	30	-	条件B		

(平成28年5月26日)

課室名

社会教育課

件名	山梨県立図書館の指定管理者の指定に伴う公募について
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成15年 6月 地方自治法の一部改正（指定管理者制度創設） ○ 平成19年 5月 新県立図書館整備検討委員会設置 ○ 平成20年 9月 新県立図書館整備計画策定 ○ 平成23年10月 山梨県立図書館設置及び管理条例公布 ○ 平成24年11月 指定管理者による管理・運營業務 開始 ○ 平成29年 3月 指定管理期間の満了
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立図書館について、今年度末で指定管理期間の満了を迎えるため、施設管理業務全般を行う指定管理者を公募する。 【現在の指定管理者】 山梨文化会館・甲府ビルサービス・NTTファシリティーズ共同事業体 (指定管理期間：平成24年11月～平成29年3月) ①指定管理者の業務の範囲 <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理 施設の保安、設備運行管理、施設・設備定期点検・環境衛生管理、警備、清掃、植栽管理、駐車場管理等 ・イベントスペース等の管理 ・総合案内 ◇教育委員会の業務 図書館の運営方針の策定、図書館資料の収集・保存・貸出・返却、レファレンスサービス、市町村図書館への支援、ボランティアの育成、NPO法人との協働 等 ②指定期間 平成29年4月～平成33年3月（4年間） ③審査方法 外部有識者で構成する選定委員会による。 ④スケジュール <ul style="list-style-type: none"> ・公募期間 平成28年6月8日～8月9日 ・一次審査 平成28年8月中旬 ・二次審査 平成28年9月上旬 ・候補者選定 平成28年9月下旬 ・指定の議決 平成28年12月議会 ・基本協定締結 平成29年1月